

南あわじ市
まち・ひと・しごと創生総合戦略
〔概要版【案】〕

平 2 8 年 3 月
南 あ わ じ 市

第1章 基本的考え方

計画の背景と目的

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。これを受け、人口の現状と将来の姿を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、戦略の目標や施策の基本的方向を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が平成26年12月に閣議決定されました。

南あわじ市においても、少子高齢化に伴い生産年齢人口が減少傾向にあります。これにより、労働力の減少や地域活力の低下、社会保障費の増加など様々な面での影響が懸念されています。また、本市は進学や就職を機に市外へ流出する若者が多く、次世代を担う若者をいかに呼び戻すかが重要な課題となっています。

これらの人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、国及び兵庫県が策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、本市の実情を踏まえた「南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」といいます。）を策定します。

計画期間

本市の総合戦略は、『人口ビジョン』と『地域創生総合戦略』で構成されます。それぞれの計画期間を以下に示します。

- ◆人口ビジョン〔計画期間：平成27年度～平成72年度（46年間）〕
- ◆地域創生総合戦略〔計画期間：平成27年度～平成31年度（5年間）〕

推進体制・進行管理

戦略の推進体制として、事業内容における客観的な効果検証を実施するため、市長を本部長とする「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を設置しました。また、地域住民や関係団体、民間事業者等から意見を聴くため、市民懇談会を開催しました。

総合戦略では、確実な成果を達成するため、施策ごとに客観的な重点業績評価指標（KPI）を設定し、実績と状況に応じて事業内容を見直す（PDCAサイクルによる戦略の実践）とともに、行政の執行部門と地域の事業関係主体との協働による取り組みが重要となります。そのため、各事業に関する実績報告及び活動予定について、推進本部等にて評価、検証、見直し等を実施するものとします。

第2章 人口ビジョン

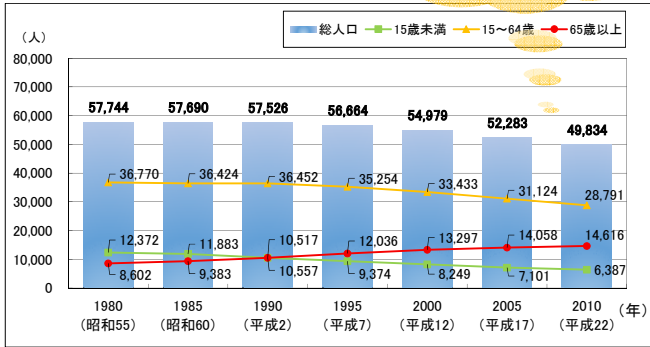
南あわじ市の人口動向

本市の総人口は、1980年から一貫して減少しており、特に生産年齢人口が減少し、高齢化が進行しています。

人口減少の主な要因は、進学や就職に伴う若者世代の市外への転出（社会減）や死亡数が出生数を上回ることによる減少（自然減）となっています。

総人口・年齢3階層人口の推移

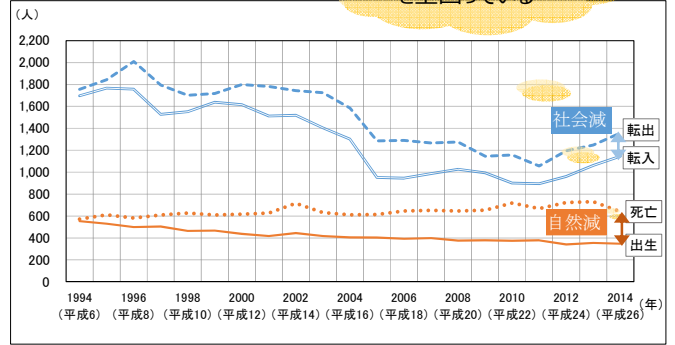
人口減少・高齢化が進行している



出典：総務省「国勢調査」

出生・死亡数、転入・転出数の推移

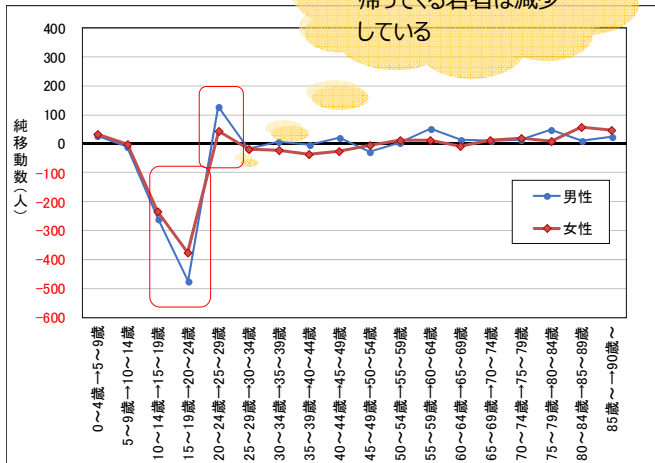
死亡数が出生数を上回っている



出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

男女別人口移動の推移

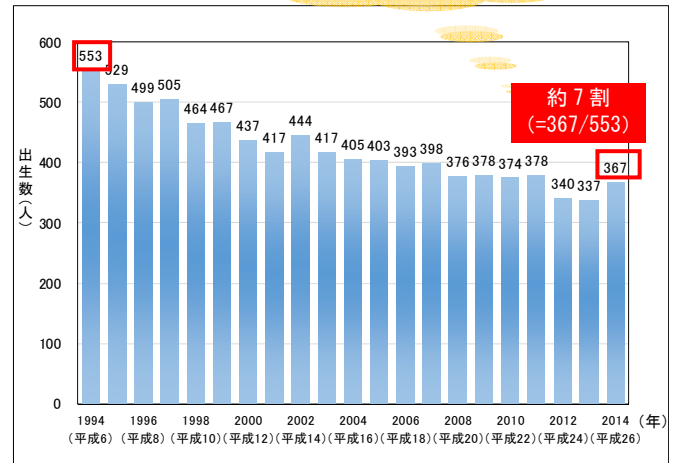
若者の転出が進み、帰ってくる若者は減少している



出典：総務省「国勢調査」並びに「住民基本台帳人口移動報告」に基づき、まち・ひと・しごと創生本部作成

出生数の推移

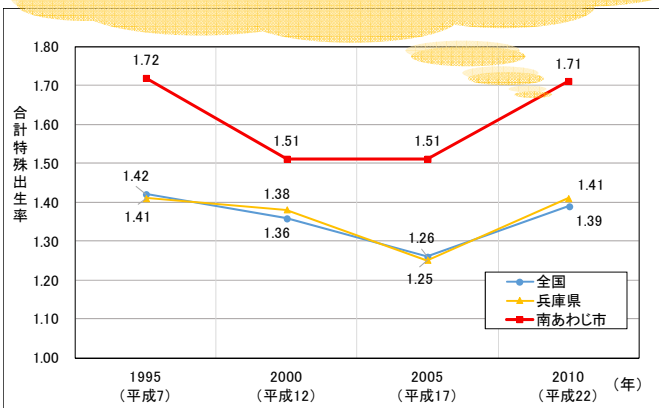
出生数は減少傾向にある



出典：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

合計特殊出生率の推移

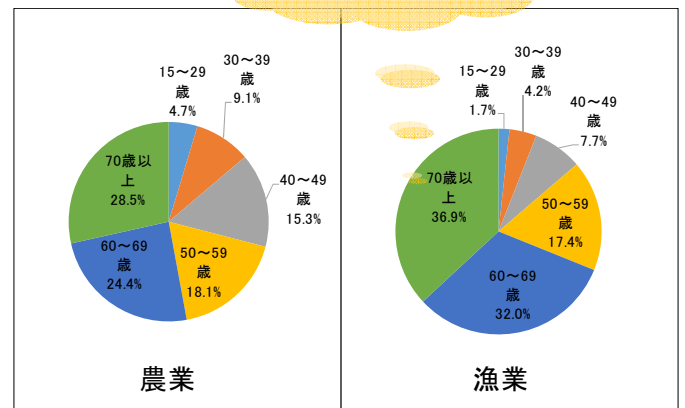
女性が一生のうちに産む子どもの数(合計特殊出生率)は国・県と比較して高い



出典：合計特殊出生率：「兵庫県 HP 厚生統計(国勢調査より算出)」

市内農業・漁業就業者の年齢構成

農業・漁業の担い手が高齢化している



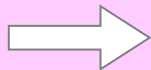
出典：総務省「国勢調査」

南あわじ市の課題と基本姿勢

本市の抱える人口、産業等の課題を踏まえ、人口の将来展望を実現するために、4つの基本姿勢を設定します。

課題① 地域コミュニティの担い手の減少

- ・地域コミュニティの担い手の高齢化
- ・近所づきあいの希薄
- ・地域の集まりに参加しない世帯の増加



基本姿勢 1

若者や子育て世代が主体的に地域コミュニティに参加したいと思えるまちづくりを行う

課題② 若い世代の転出の超過

- ・若者世代の転出と転出先での定住
- ・農業、漁業、地場産業の衰退
- ・農業、漁業、地場産業の従事者の高齢化と後継者の不足



基本姿勢 2

若者が帰ってきたい、住みたいと思えるまちづくりを行う

課題③ 観光・交流人口の伸び悩み

- ・豊かな食文化、伝統文化の広報の不足
- ・市の魅力に対する若者の認識不足



基本姿勢 3

観光・交流人口を拡大するまちづくりを行う

課題④ 子育て・教育ニーズの多様化に応じた支援の充実

- ・核家族化や共働きの増加による子育て
- ・教育に対するニーズの多様化



基本姿勢 4

子育て世代が安心して子どもを産み育てられるまちづくりを行う

人口の将来展望

人口の将来展望では、国や県の人口の将来展望を勘案しつつ、基本姿勢を踏まえ、目標とする人口を定めます。国の推計では、本市の人口は2060年に2.4万人まで減少すると推計されていますが、本市では出生率の向上、若者の転入促進などにより、2060年の本市人口として3.1万人を維持することをめざします。

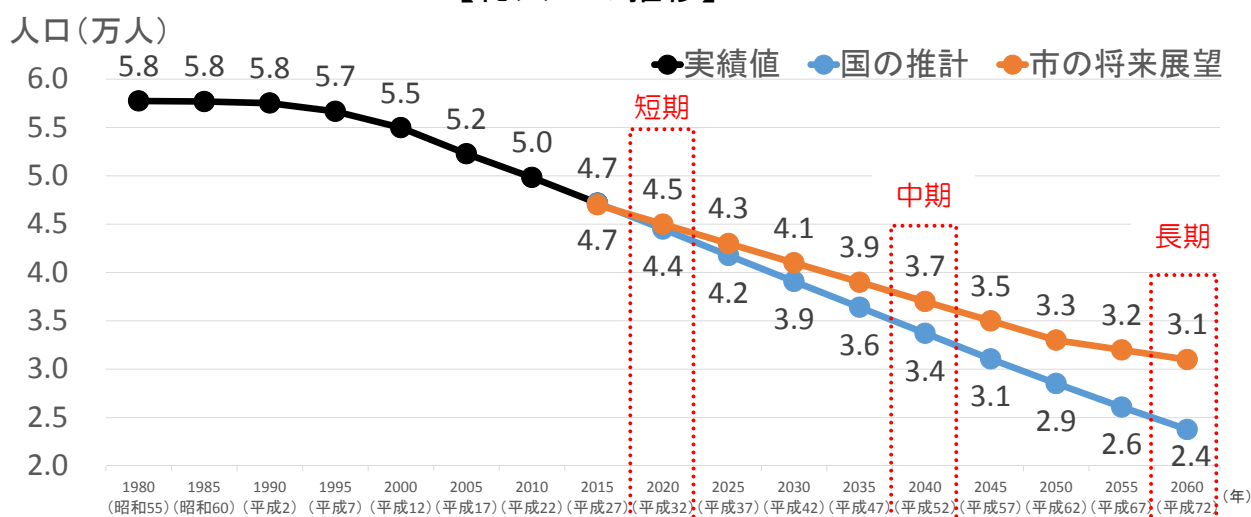
本市の人口の将来展望を実現するために、下記の条件を設定します。

I	出生数・合計特殊出生率については、2030年までに合計特殊出生率を2.15まで上昇させることをめざします。
II	進学や就職等で転出した若者のUターンや市外出身の若者のIターン等による転入促進を進め、2025年までに純移動を半減、2050年までに純移動の均衡（純移動率「ゼロ」）をめざします。
III	長期的には本市の特色である「食」を中心とした観光・交流人口を増加させ、本市への移住・定住者増加による社会増をめざします。

短期・中期・長期の目標人口

短期目標（2020年）	44,900人
中期目標（2040年）	36,700人
長期目標（2060年）	31,000人

【総人口の推移】



第3章 地域創生総合戦略

本市の現状と課題、基本姿勢を踏まえ、本市の人口の将来展望を実現するため、4つの基本目

【基本目標 I】 地域ぐるみで支え合い、笑顔がたえないまち

子育て世代や若者、高齢者を含めた各世代が、まちづくりや防災などの地域活動への参加を通じて地域ぐるみで支えあい、地域の住民全てが安心して笑顔で暮らせるようなまちづくりをめざす

【施策目標】

〔安全・安心の確保〕

- 1) 防災意識を高め、円滑な消防防災活動の推進(危)
- 2) 農村を災害から守り、環境を各世代で維持管理する活動のための新技術の導入(農)
- 3) 幹線道路や住宅地の湛水被害の軽減による交通機能の確保(建)
- 4) 安全かつ利便性の高い道路交通網の整備(建)
- 5) 生活環境の改善と自然環境の保全につながる地域づくり(建)
- 6) 健康で安心して暮らせるまちづくり(福)
- 7) 人権尊重の文化が根付くまちづくりの推進(教)
- 8) 安心・安全な漁港施設の整備(農)

〔地域コミュニティの創生〕

- 9) 多文化共生コミュニティの推進(企)
- 10) 女性が活躍する社会づくり(企)
- 11) 地域力を創造するコミュニティの構築(市)

〔利便性の確保〕

- 12) 市民サービス向上につながる情報提供〔地域編〕(企)
- 13) 快適で住みやすいまちづくり(建)
- 14) 強固な財政基盤により魅力ある施策展開を図れるまちづくり(総)
- 15) 人口減少や住民ニーズなどに対応した公共施設等総合管理(総)



【基本目標 II】 働く場を得て、ずっと住み続けたいまち

若者が本市にずっと住み続けたいと思えるよう、働く場や住居の充実と情報提供する仕組みを整え、既存産業が活性化するとともに、地域資源を活かした新たな起業機会に恵まれたまちをめざす

【施策目標】

〔移住・定住の促進〕

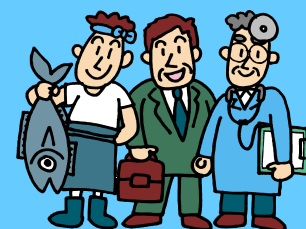
- 1) 地域特産品と地域外人材活用によるにぎわいの創出(企)
- 2) 田舎暮らしの促進(企)
- 3) 未婚者の結婚と定住促進(企)

〔雇用の創出〕

- 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進(企)
- 5) 市民サービス向上につながる情報提供〔就職編〕(企)
- 6) 吉備国際大学と連携した地域おこしの促進(企)
- 7) 起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進(農)
- 8) 淡路島特有の再生可能エネルギーと新産業の創出(農)
- 9) 障がい者が安心して働き続けられる場の提供(福)

〔地場産業の活性化〕

- 10) 農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産(農)
- 11) 淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進(農)
- 12) 農業の担い手確保と育成(農)
- 13) 農畜水産物の高付加価値化(農)
- 14) 南あわじ産漁獲物の販路拡大及び付加価値向上(農)
- 15) 水産資源の確保と環境づくり(農)



標とそれに基づく施策目標を設定します。

【基本目標 Ⅲ】 魅力と味力があふれるまち(ふるさと)

「ふるさとを思う心」(郷土愛)を育み、定住する次世代の若者の育成をめざすとともに、自然や歴史・文化など本地域が古来保有する「魅力」に加え、本地域の特色である一次産業の持つ力を「味力」と位置づけ、「魅力」と「味力」の両面から新たな価値を創出し、観光・交流人口の増加による活気あふれるまちをめざす

【施策目標】

〔魅力の創出〕

- 1) まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(企)
- 2) 観光交流人口の拡大(企、農)
- 3) アンテナショップによる認知度の向上(農)
- 4) 見力による南あわじ市の魅力を世界中に発信!(企、農)

〔味力の発信〕

- 5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進(農)

〔郷土愛の醸成〕

- 6) 地域資源(渦潮)の保全と関心・愛着を持った人づくり(企)
- 7) 三世代間交流による地域の伝統・文化の継承(福)
- 8) 南あわじ市が大好きな子どもたちを増やす(教)
- 9) 子どもや若者が集い、学び、交流する場づくり(教)
- 10) 郷土愛を育む、松帆銅鐸などの文化財整備(教)



淡路島玉ねぎ



渦潮



淡路人形浄瑠璃



松帆銅鐸

【基本目標 Ⅳ】 子育てしやすいまち

子どもたちが安全で安心して学ぶことのできる環境を整備するとともに、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざす

【施策目標】

〔子育て支援の促進〕

- 1) 市民サービス向上につながる情報提供〔子育て編〕(企)
- 2) 子育て世帯の負担軽減及び再使用促進(市)
- 3) 子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働支援体制づくり(福)
- 4) 安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上(福)
- 5) 子どもたちを災害・犯罪から守るまちづくり(教)
- 6) 保護者の経済的負担を軽減し、子どもの教育振興を図るまちづくり(教)
- 7) 安心して学べ、安全に子育てできるコミュニティづくり(教)



〔学びの充実〕

- 8) 子どもの健やかな成長の見守り(福)
- 9) 子どもたちが芸術にふれあい、豊かな創造力や表現力を養う(教)
- 10) お互いを尊重し、楽しく安心して学校生活を送ることができるまちづくり(教)
- 11) 小中学生の学力向上をめざす(教)
- 12) 子どもたちが放課後や休日に安心して過ごせ、体験学習等を通じ創造力や協調性を養うまちづくり(教)

〔教育環境の充実〕

- 13) 子どもたちが安心して通学できる環境整備(建)
- 14) 子どもが安心して学べる教育環境の整備(企、教)
- 15) 子どもから大人までスポーツのできる環境づくり(教)



南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版

平成 28 年 3 月発行

発行 南あわじ市

編集 企画部 ふるさと創生課

〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺 22 番地 1

TEL 0799-43-5205 FAX 0799-43-5305

E-mail: furusato@city.minamiawaji.hyogo.jp

URL: <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>